



私立短期大学図書館協議会
関東甲信越地区協議会会報



※会報のご意見・お問い合わせ

会報担当館：実践女子短期大学図書館 土居道子 (tlib@jissen.ac.jp)

====<目次>=====

- ▼2011（平成23）年度関東甲信越地区 総会報告
- ▼2011（平成23）年度関東甲信越地区 研修会報告
- ▼『短期大学図書館研究』32号 原稿募集
- ▼事務局だより
- ▼編集後記

▼2011（平成23）年度 関東甲信越地区総会報告

- 日時 2011（平成23）年5月20日（金） 午前11時～11時40分
- 場所 共立女子大学・共立女子短期大学 本館15階 会議室
- 参加 出席25館（25人）、委任状提出23館、合計48館

開会に先立ち、毛利会長より東日本大震災被害地域へのお見舞いと義援金への協力のお願いがあった。引き続き午後開催の講演会についての紹介があった。

会則第9条に基づき会長が議長となり議事が開催された。

議題として、①2010（平成22）年度事業報告②2010（平成22）年度決算報告・監査報告
③2011（平成23）年度幹事校紹介④2011（平成23）年度事業計画（案）⑤2011（平成23）
年度予算（案）が提出され審議の結果、すべて原案どおり承認された。

○報告・承認事項

1. 会勢（2011年4月20日現在）58館

- <入 会> 1館
埼玉東萌短期大学附属図書館
- <退 会> 3館
文教大学湘南図書館
日本大学生物資源科学部図書館
共栄大学・共栄学園短期大学図書館



[総会会場の様子]

2. 2010（平成22）年度事業報告

（1）総会の開催

日 時：2010年5月21日（金）11：00～12：00 場 所：内田洋行

（2）合同幹事会の開催

第1回（合同）2010年5月21日（金）内田洋行

第2回（合同）2010年7月15日（木）青山学院女子短期大学図書館

第3回（合同）2010年9月7日（木）日本体育大学図書館

第4回（合同）2010年11月17日（水）青山学院女子短期大学図書館

第5回（合同）2011年1月13日（木）日本体育大学図書館

第6回（合同）2011年3月7日（月）共立女子大学・共立女子短期大学図書館

第7回（合同）2011年5月16日（月）日本体育大学図書館

（3）地区会報の発行

第49・50号合併号（2011年3月刊） 地区総会・地区研修会関係

全国会報と同様に年1回の発行となった。

（4）地区研修会の開催

日 時：2010年10月22日（金）11：00～17：00

場 所：日本体育大学 世田谷キャンパス 大会議室

参 加：32館 45名

テーマ：「学生支援と図書館 Pt.3ー情報リテラシー教育の実践ー」

講 演：木村修一氏（北海道武蔵女子短期大学）

「図書館利用教育の重要性と実施ポイントー実践事例から考察するー」

事例報告①：田村栄子氏（清泉女学院大学・短期大学図書館）

「学習支援の第一歩 ー〈図書館でできること〉を伝えるー」

事例報告②：高橋可奈子氏（湘北短期大学図書館）

「湘北スタイルのラーニング・コモンズを目指して」

事例報告③：大石弘美氏（青山学院女子短期大学図書館）

「多様な6学科構成に対応した学生支援」

事例報告④：山田かおり氏（嘉悦大学情報メディアセンター）

「嘉悦大学における〈学生に火をつける〉ための学習支援環境」

パネルディスカッション：毛利和弘会長、木村修一氏、事例報告者4氏

図書館見学：日本体育大学 新図書館

3. 2010（平成22）年度決算報告

決算報告書は、協議会 HP（<http://shitantokyo.org/>）会計報告に掲載。

4. 2011（平成23）年度事業計画

（1）関東甲信越地区協議会研修会

・毎年10月開催予定（日時、会場、テーマに関する詳細は未定）

・講演と報告に関しては、研究誌『短期大学図書館研究』（ISSN:0388-3663）

31号（2012年3月発行予定）への論稿化を依頼する。

(2) 関東甲信越地区協議会会報の発行

・51号（2012年3月発行、総会・研修会関係報告）

＊協議会HP (<http://shitantokyo.org/>) にPDF化し掲載。

(3) 本部・地区合同幹事会

・原則として、年間6回の開催予定（奇数月、5・7・9・11・1・3月）。

・臨時の合同幹事会については総会・研修会準備等の都合により随時開催。

5. 2011（平成23）年度 予算書

[収入の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
前年度繰越金	388,889	
交付金	290,000	58館 × 5,000円
助成金	100,000	地区一律
雑収入	111	
合計	779,000	

[支出の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
事業費	230,000	
年次総会費	0	会場費（全国総会と同会場・共立女子大学短大）
研修会費	200,000	会場費、講師謝礼、幹事・講師等食事代 他
HP関連費	30,000	会報・名簿等メンテナンス 他
会議費	100,000	総会・幹事会・会計監査の茶菓・食事代 他
事務局費	335,000	
事務・運営費	300,000	幹事交通費、会計監査交通費 他
通信費	10,000	送料（郵便・宅配便・メール便） 他
消耗品費	20,000	事務用品、コピー代 他
雑費	5,000	振込手数料
予備費	114,000	
合計	779,000	

6. 2011（平成23）年度幹事校と役割分担（敬称略）

【地区協議会】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部（毛利 和弘）

事務局： 青山学院女子短期大学図書館（小林 陽子）

戸板女子短期大学図書館（海老澤 彩乃）

名 簿： 実践女子短期大学図書館（土居 道子）

会 計： 鶴見大学図書館（近藤 聡子）

研 修： 青山学院女子短期大学図書館（小林 陽子）

戸板女子短期大学図書館（海老澤 彩乃）

広 報： 実践女子短期大学図書館（土居 道子）

監 査： 立教女学院短期大学図書館（篠原 智子）

【本 部】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部（毛利 和弘）

事務局： 共立女子短期大学図書館（久保 寿治）

広 報： 新潟青陵大学短期大学部図書館（高野 聡）

会 計： 山野美容芸術短期大学図書館（久保田 智弘）

監 査： 日本体育大学図書館（谷口 豊）

立教女学院短期大学図書館（篠原 智子）

▼2011（平成23）年度 関東甲信越地区協議会 研修会報告

■□テーマ： 「図書館サービスのあり方を考えるー利用者志向と読書推進の視点からー」

■□日 時： 2011（平成23）年10月21日（金） 12:45～17:00

■□会 場： 戸板女子短期大学 三田キャンパス 6F 607 教室

■□参加者： 33名（27館）

近年の図書館サービスは、大学の授業形態がグループ学習スタイルのものが増加する傾向を受けて、授業と図書館が連携するラーニング・コモンズに対応する「場としての図書館」作りや「グループ学習室の充実化」など、あり方が大きく変化してきている。また、電子書籍を含め電子媒体資料が、資料提供サービスにおいて重要な位置づけがなされるなど、情報媒体の著しい変化により、今後の図書館サービスのあり方が問われている。こうしたことから「図書館サービスは今後どうあるべきか」、真剣に検討されなければならない時期がきている。今研修会では、そうした意味において「図書館サービスのあり方」に焦点を当てることとした。

講演では、利用者の満足度を高めるための基本的な考え方やマーケティングの動向などを紹介するとともに、具体的な図書館サービスアップのための一つである読書推進にスポットを当て、さらに自由討議にて議論を深め、参加者全員と課題・問題点を共有したいと考えている。今研修会が、図書館サービスのあり方を検討する機会となるとともに改善・改革に役立てていただきたい。

【講演①】

講師：毛利和弘氏（亜細亜大学・亜細亜短期大学部 非常勤講師）

テーマ：「顧客満足度アップのための図書館サービス—利用者中心志向とは—」

図書館サービス向上のための改善・改革を検討する参考として、企業における顧客志向の様々な事例と思想を紹介しながら、図書館における利用者中心志向への具体的な考え方について紹介された。

これからの図書館サービスの在り方として、利用者の視点に立って、現在の利用者が求めているものを市場調査し、必要とされるサービスを提供していく姿勢を持つことの必要性について講演された。

【講演②】

講師：安岡貴美代氏（敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター事務室長）

テーマ：「アンケートに基づき、読書をする場としての図書館を再考する」

全入時代の短大生の傾向を分析し、「今どきの学生」の自主的学習意欲を育てていくための「場としての図書館」の役割、またアンケート（日本私立短期大学図書館情報担当者研修会）を元に、読解力を高め、活字離れに歯止めをかける「読書推進運動」について、そのタイプと意図・目的と効果について報告された。そして、そこから見えてくる、今後の課題と問題点そして図書館利用活性化へのヒントとなる事例が紹介された。

【事例報告】

報告者：海老澤彩乃氏（戸板女子短期大学図書館）

テーマ：「図書館サービスを考える—戸板女子短期大学の事例紹介」

戸板女子短期大学図書館の学生への働き掛けの実例を紹介しながら、図書館サービスのあり方を示された。学生が図書館活動に自ら参加して、他の学生へ情報を発信していくような仕掛けや環境づくりなどの事例報告がなされた。

「学生に魅力的な図書館を作るには、学生の意見をどんどん取り入れることだと思う、企画すべてが利用者増に繋がらなくとも、図書館に行けば何かやっているという情報発信をし続ける図書館をめざしている」という発表者の言葉が印象的であった。

【フリーディスカッション】

進行：毛利和弘氏（亜細亜大学・亜細亜短期大学部 非常勤講師）

研修会の事前アンケートを基にして、参加者が自分の図書館でおこなっている利用者を図書館に向かわせるための工夫や企画、読書推進の事例紹介をした。

それらを元に自由に参加者同士で質疑応答が行われた。



【研修会の様子】

▼『短期大学図書館研究』32号（2013.3）原稿募集

ただいま平成24年度発行『短期大学図書館研究』32号の原稿を募集中です。図書館に関する研究論文、調査・事例報告、情報・ニュース等、投稿してみませんか？今年こそはと思う方、詳細は私立短期大学図書館協議会HP（<http://shitantokyo.org/report/>）の研究誌原稿募集に掲載してあります募集要項等をご覧ください。お待ちしております。

▼事務局だより

◎平成24-25年度幹事校・幹事

☆埼玉東萌短期大学附属図書館、鶴川女子短期大学附属図書館
が新たに幹事館として参加していただきます。

☆上田女子短期大学（総合文化学科准教授）木内公一郎氏を
幹事としてお迎えする予定です。



▼編集後記

2010年発行号より会報の発行を年1回とさせていただいております。

私立短期大学図書館協議会HP（<http://shitantokyo.org>）からは過去の会報も見るができるようになりました。同様に、例年会報に掲載しておりました会計報告についても、協議会HPから見るできるようになりましたのでそちらをご確認ください。今号は2011（平成23）年5月に共立女子大学・共立女子短期大学で開催されました総会の報告と、10月に戸板女子短期大学で開催されました研修会の報告です。

会報作成に当たりご協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

今後ともよろしく願いいたします。

（実践女子短期大学：土居）